

Koryu

Ritto International Friendship Association

栗東国際交流協会 (RIFA)

〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺 1-13-33

TEL 077-551-0293

FAX 077-554-1123

ホームページ <http://www.rifa.jp/>

メールアドレス mail@rifa.jp

編集 総務広報委員会

お米シリーズ クック&ランチ

ワクワク！ドキドキ！参加者も主催者もこの瞬間がたまらない。

第32回 異文化交流サロン
日時：平成21年2月8日（日）
10：00～14：00
場所：コミュニティセンター大宝西
RIFA 文化交流委員会主催

=当日の様子を実況中継風にお送りします=



さあ、午前10時、コミュニティセンター大宝西において、お国自慢の火蓋は切って落とされました。今回のお題は「お米料理」です。

調理室では、オープニングセレモニーもそこそこに、所狭しとエプロン姿の男女が行き交っています。日本は「デコレーションちらし寿司」、台湾は「ちまき」、ペルーは「アヒ・デ・ガジーナ（若鶏のチリソースライス）」、スペインは「パエリア」。まさに、異文化交流のコロシアムとなっております。

日本の調理台では、炊き立ての寿司飯が“ホクホク”と湯気を立て、スペインの席では、熱せられたフライパンに豪快にムール貝が放りこまれ水蒸気と共に魚介類のいい香りがしてきます。一方、台湾席では、炒めたお米を淡々と鮮やかに竹の皮で包んでおり、まさに米料理のイリュージョンと呼べるのでは！！また、隣席のペルーでは、きれいなクリーム色のソースが出来上がってきています。



各席、どんな料理に仕上がっていることやらと期待に胸を膨らまし、いざ試食！
「いただきます～す！」参加者全員が期待を裏切られること無く、朝から胸を膨らませた甲斐あって、お腹もいっぱい！

そして！ここからがさらに大盛り上がり！



なんと、今回が初デビューの、チーム SOUP による、ゴスペル風の歌につづき、特別サービスとしてのペルーダンスの披露。

シャイで有名な！？日本人も、また、中国・台湾・ポーランド人もいっせいに歌って踊りだす！

異文化交流サロンは、実に面白い！！(T.Y)



国際理解講座 「フラジル日本移民 100 周年」

日時：平成 21 年 1 月 24 日(土)

14:00~15:30

場所：中央公民館 1 階

～もっと知り “愛” たい♡ふれ “愛” たい～

もともとは、「身近に住む日系ブラジルの方々と気楽に話をする」のが目的で企画していた講座でしたが、現在の話題にあわせた質問や意見が飛び交い、“楽しかった” + “考えさせられた” 時間となりました。

河野 幸栄さん(左)
ブラジル生まれ。
日本の大学に進学、そこで出会った方と結婚。
おもに、移住地での話を伺いました。



「移住地での生活は大変だったでしょ？」と聞かれることが多いけど、そこで生まれ育った私には、楽しかった記憶しかないんです。だから、大変だった苦労話はできない(笑)ただ、両親はやっぱり苦労したんだろうと思うし、あ！私も、「ポルトガル語と日本語」の両立は慣れるまで大変でした！

小6の8月に家族で、日本にきました。中学校に入るまでは家で日本語の勉強をしていましたが、中学校の生活は、なにも分からない状態でした。今は、水口の市役所で、日系ブラジル人に対する、履歴書の書き方や面接の仕方、求人票の翻訳などに追われています。

岡 ユキ子さん(右)
ブラジル生まれ。おもに、現在の日系ブラジル人の方の状況について伺いました。

湖南省では相談窓口に来る方が多く、全員の相談にのることができないという状況があります。ああ・・・話し始めると、5 時間は必要で

松尾 隆司さん
中南米の外国籍住民問題に取り組んでいらっしゃいます。

RIFAでは年に数回、国際理解講座を開いています。いつもなら外国の文化や習慣を知ろう！という内容ですが、今回は『日系ブラジル人と日本社会について』というのが主だったものでした。

1 世紀前に日本からブラジルへ渡った人たちの 2 世、3 世が日本にいられています。日本へのいわゆる“出稼ぎラッシュ”が始まった頃、「日本ではブラジルの 10 倍の賃金がもらえる」と言われ、実際に先駆者達は数年働けばブラジルで家を持つほどの財を成すことができたと聞きます。景気の良い時には、休まず残業も喜んでやってくれるブラジルやペルーからの人たちは日本人に代わって製造現場を支える存在でした。しかしながら雇用形態はパートや派遣労働がほとんどで現在のような不況になると、真っ先に“解雇や雇い止め”に遭う弱い立場にあります。

現在、日本人でも雇用の確保が難しい中、日本語のできない外国人労働者は情報不足や複雑な行政手続きなどで大きなハンディを負っています。

その様なきびしい状況の中で隣町『KIA (湖南省国際協会)』の松尾さんのお話で、湖南省は外国籍住民が多いこともあり、外国人問題や外国人との共生について地域住民の理解が深い、ということに感動を覚えました。

経済効率ばかり求めてきたツケが弱いものにまわっているような気がします。強さよりやさしさが求められるような時代になることを期待します。(H.A)

＝そのほか、当日の参加者の感想＝

- ・「目の前に問題山積みなのに、楽しいイベントばかりしている RIFA」から脱却できた。
- ・自分自身が勤める工場でも、派遣社員(ブラジル人)が減った。
「声をかける勇氣」「派遣切りを食いとめる努力」など、とても反省させられた。
- ・できれば「私たちに何が出来るか」という前向きな話し合いで会を締めくくりたかった。
- ・河野さん手作りの Brigadeiro (ブリガデイロ：コンデンスミルクとココアのチョコレート) がおいしかった。
- ・滋賀県国際協会のブラジルボックスは、マテ茶や魚の鱗(爪磨きを使う!?) など、珍しいものが満載だった！

いろいろな形で国際交流・国際協力をはかりたい。

中国湖南省衡陽市と新しい形の交流へ！

市からのお知らせ

栗東市では、友好都市である中国湖南省衡陽市と、使節団の派遣・受入をはじめとする交流を行ってきましたが、昨年11月、衡陽市使節団の来訪にあわせて、交流事業についての協定書を見直し、新たな協定書の締結を行いました。

これまで相互に行ってきた公式訪問団による交流に代えて、市民による新たな友好交流へと転換を図っていきたいと考えています。

RIFAとして市民による交流の輪を広げよう！

栗東国際交流協会では、市からの委託による衡陽市使節団歓迎レセプションの開催や、教員学生交流団のホームステイ協力など、栗東市と衡陽市の交流事業に貢献してきました。

昨年11月に来訪された衡陽市使節団の皆さんは、さきらシンボル広場での「栗東国際交流協会10周年記念事業」に参加され、RIFA会員や一般市民とともに食の文化交流や文化祭で市民の生活や日本の文化に直に触れ、楽しいひとときを過ごされました。

このことは、市民による新たな友好交流への第一歩であり、RIFAが主体となった交流に期待が寄せられていることを感じました。今後は、栗東国際交流協会を中心に、市民による、新しい形の交流を進めていきましょう！（A.O）



子供たちと並んで食の交歓交流

ドイツ・マンハイム市立音楽院付属青少年 シンフォニーオーケストラ (RIFA後援) 80人ものドイツ人が栗東にやってくる！?



日時：平成21年4月17日（金）19:00~21:00
場所：栗東芸術文化会館さきら 大ホール
チケット：一般1,500円 学生・65歳以上1,000円
問合せ先：さきら・栗東音楽振興会 551-1455
*RIFAホームステイボランティアスタッフも
4泊5日のホームステイに協力します。

しが外国籍住民支援ネットワークに RIFAも加入します。

滋賀県内では、「労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者の数」が全体の6割を占めているといわれています。昨年末からの不況により、多くの外国籍労働者が失業している状況から、「しが外国籍住民支援ネットワーク」が設立されました。募金や物資提供などを呼び掛けられています。RIFAも団体加入し、協力体制を取っていく予定にしておりますので、ご理解・ご協力、よろしく願いいたします。

活動の詳細：<http://gaikokuseki.shiga-saku.net/>
問合せ先：電話 077-561-5110

英会話講座

アート先生は旅行好き！！



前期(9月~11月)、後期(1月~3月)の2回(各10回)行われた英会話講座が終了しました。講師のアート先生は、旅行マニアのボーランド人！馬やラクダにまたがり、世界中を飛び回っている模様。英語の練習はもとより、アート先生の旅行話や旅の写真も魅力の授業でした。(先生の旅写真は→www.picasaweb.google.com/axchannel/)

初登場！カルメン 白鳥さん



第32回異文化交流サロンでパエリアを作っていた、カルメンさん(京都在住、スペインバルセロナ出身)。スペイン語講師、スペイン料理教室、更に、スペインのプライベートツアーガイドとマルチに活躍されています。ぜひ、次回は国際理解講座で、いろいろなお話を伺いたい方です。

日本語教育講座

滋賀県内 日本語教育について学ぶ

実施日：3月14日(土) 14:00~15:30

滋賀県内の日本語教室のネットワークとして、年に1回、スピーチ大会が行われている「びわこ日本語ネットワーク(BNN)」代表 金網 蓉子さん、副代表 沼田 重昭さんにお話を伺いました。(内容:BNNの活動、各日本語教室の状況、御園小学校における日本語指導など)

=参加者の声=

栗東の日本語教室に立ち上げ時期から携わっていますが、久しぶりに、他教室の状況やBNNさんの活動について聞くことができ、とてもよかったです。決して「一時的」とはいえない期間で日本に住んでいる外国籍の方たちへの日本語指導や日本の制度のあり方など考えさせられました。また、御園小学校への出前教室(ボランティア活動)については、本当に頭が下がりました。RIFA日本語教室も、引き続き、がんばっていききたいです。(H.K)

お知らせ掲示板

今後の活動予定です。くわしくは RIFA ホームページ、広報「りっとう」でご案内します。

RIFA総会

～平成 21 年度の RIFA 活動を考えます～

日 時：5 月 10 日（日）10：00～12：00

場 所：中央公民館

多くの方の出席をお願いします。

Japanese Cooking*○○○*

～日本料理のき・ほ・ん～（新規事業）

外国籍住民の方対象。

料理が苦手な（？）日本の方も歓迎！

日時や場所などは、随時、日本語教室開催日や、ホームページなどでご案内します。5 名以上のグループで、日時相談も受け付けます。

* 材料費のみ実費負担（300～1,000 円程度）

目的：出身国では見たことのない野菜に、お弁当の制度。給食と同じものを食べたいという子ども。日本の味つけ。戸惑っている方も多いのではないのでしょうか。「簡単おいしく」をモットーに、日本料理講座を行います。

餃子パーティー

～日本語教室交流会～

日 時：4 月 11 日（土）10：00～14：30

場 所：コミュニティセンター大宝東

材料費：500 円程度（当日実費負担）

内 容：日本語教室、年度初めの第 1 回は、普段の授業を変更し、中国籍学習者に「水餃子」の作り方を教えてもらいます。日本語教室や中国に興味のある方の参加も OK！

* スペースの都合上、20 名程度までです。

4 月から始まる通年事業

外国人生活相談窓口（毎週水曜日、13:00～17:00、市役所）

韓国語自主講座（月 3 回、火曜日 19:00～20:30、中央公民館）

中国語自主講座（月 3 回、土曜日 10:30～12:00、中央公民館）

日本語教室（毎月第 2・4 土曜日 10:30～12:00、中央公民館）

* 中国語講座：4 月より場所・時間が変わります。

（通年の事業は、見学も随時受け付けています。）

各種イベント・講座のお問い合わせ&申込みは、
☎電話：077-551-0293 FAX：077-554-1123
メールアドレス：mail@rifa.jp

会員随時募集中

【会員特典】

RIFA イベント、講座参加費の割引
会報「Koryu」、イベント案内のお届け

【会費（年間）】

個人会員	2,000 円
家族会員	5,000 円
法人会員	20,000 円

委員会

総務広報委員会

- ・会報「Koryu」発行（年 4 回）
- ・会員拡大・協会の PR 活動
- ・HP の作成・管理

文化交流委員会

- ・異文化交流サロン・イベント企画運営
- ・友好都市・姉妹都市との交流活動

より積極的に、楽しく。
RIFA を盛り上げたい！
活動したい！と思ったら
→委員会 & ボランティア
活動に参加しよう♪♪

ボランティア活動

- ・語学（通訳、翻訳）
- ・日本語指導
- ・ホームステイ
ホームビジット
- ・文化紹介
- ・その他

外国籍の方の参加も大募集中！お友達にご紹介ください。

【春夏秋冬】

先号に紹介されたハンガリーのユディットさんのことを頭に浮かべて今年 1 月下旬から 2 月にかけて東欧を旅しました。いずれ詳しい報告はどこかですするつもりですが、ドイツ、チェコ、オーストリア、スロバキア、ハンガリーと 5 カ国を通り抜けましたが、一番驚いたことは気がつかないうちに国境を越えていたということで、それだけ欧州連合（EU）の共同体意識が高まっているということだと思えます。通貨もユーロ圏でない国でもユーロは使えるようになっています。まさにヨーロッパは一つになりつつあることを実感した次第です。（M.O）

